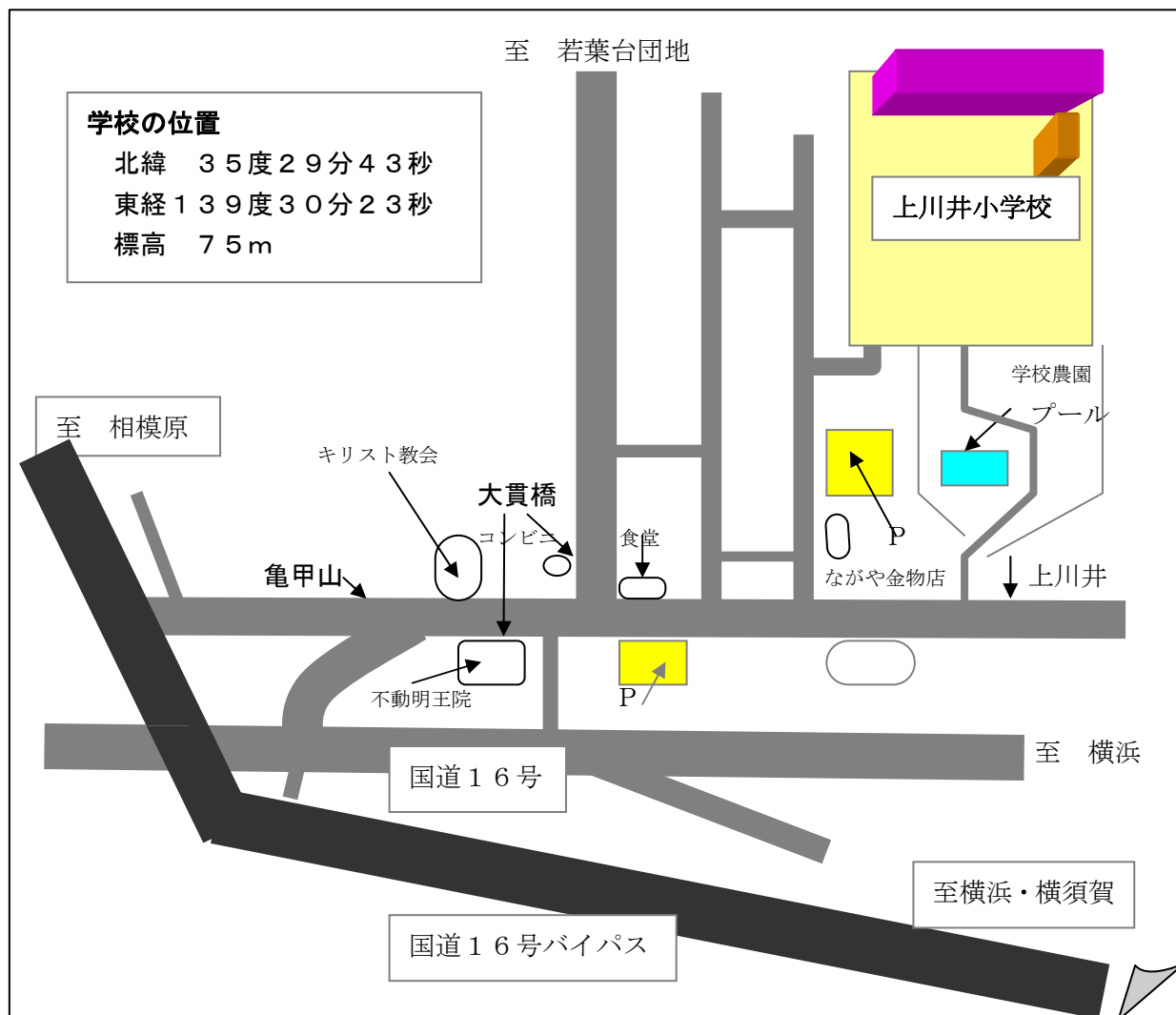


学校の概要・地域の概況・学校の歴史

本校の概要

(1) 学校名	横浜市立上川井小学校
	TEL. 045-921-2369、2370 FAX. 045-922-6512
所在地	横浜市旭区上川井町2913 〒241-0802
利用交通機関	相鉄線三ツ境駅下車 若葉台中央行（市営、相鉄、神奈中） 乗車 大貫橋下車 徒歩5分
創立年月日	明治15年9月14日 （上川井日原耕地356番地に萱葺き校舎が1棟新築され、上川井学校として開校）
開校年月日	昭和44年4月1日 （上川井分校から横浜市立上川井小学校として、独立）

地域の概況



《日本のシルクロード沿いのまち》

かつての上川井町は、町の中央を流れる帷子川沿いに水田が開け、絹の道でよく知られている八王子街道（旧国道16号）沿いに集落をなす東西に細長い町であり、田畑を中心にした農業と養蚕業が盛んに行われていた。八王子街道・矢倉沢往還を通して鶴ヶ峰や町田等とつながりをもつ地域であった。

昭和27年、現在の国道16号線が開通し、横浜・八王子方面への交通が便利になった。

昭和40年代の後半には、保土ヶ谷バイパス全線開通、東名高速道路とのつながりにより、上川井町の16号線沿いには自動車関連の企業や住宅が進出し、専業農家は減少し、勤めの人々が急増してきた。また、程ヶ谷カントリークラブの開設や若葉台団地の建設により、三ツ境や十日市場町とを結ぶ道路が開通し、上川井町の人々の生活圏の広がりと共に、地域の人々の生活様式も都市化し、多様化の傾向を見せてきた。

しかし、国道16号線沿いの一部を除き、町の景観や昔から伝えられてきた祭りや行事等は温存され、神社を中心にしたお祭りやドンド焼き等の行事が今でも行われている。地域の人々の帰属間や連帯感も強く、人情に厚い地域である。

《本校の歴史》

本校は、明治15年「上川井学校」として設立された。大正10年に都岡小学校の分校となったが、昭和44年「上川井小学校」として独立。地域の学校として、学校への思いは強く、大変協力的である。

昭和54年度の児童数660人をピークに年々減少し、ここ数年は1学年1クラス程度の小規模校であったが、平成5年、桜山に建設されたマンション（当時168世帯）と昭和40年代に建てられたアパートの立替等により、児童数が増加し、クラス数も複数化した。児童数の減少に伴い、平成19年度より、1学年1クラスとなっている。

人数の割には広い校地で、子ども達はのびのびと活動している。地域の特色を生かし、「ふるさとふれあい上川井」をキャッチフレーズに、まちと共に生きる子ども達の育成に向け、職員はその利点を生かした学校運営にあたっている。